

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人敬心福祉会
事業所名称	デイホーム南池袋
事業所所在地	東京都豊島区南池袋3丁目7番8号オリナスふくろうの杜
事業所電話番号	03-5958-1206

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)利用者ファースト 2)新しいことへの挑戦 3)業務改善 4)豊島区で1番のデイサービス（CS、稼働率、職員定着度） 5)地域連携

全体の評価講評

特に良いと思う点

・ **食事・入浴等の生活支援の中で、利用者が楽しく過ごせるように工夫や配慮をしている**

食事は感染予防のためにバイキング形式や調理プログラムを中止しているが、季節感があり、栄養バランスの取れたバラエティに富んだ献立となるようにし、イベント食や行事食で楽しめる工夫がある。デパートの各種ケーキを取り揃えたり、利用者の注文を受けて目の前で寿司を握るイベントやベランダで育てた野菜を使った手作りピザを提供していた。入浴では温泉抽選会を開いて楽しい雰囲気を作ったり、入浴剤や湯上りドリンクを用意して利用者がくつろげるようにしている。必要な生活支援を通して、利用者が楽しみながら元気に過ごせるような配慮がある。

・ **利用者および職員の希望やアイデアから初めてのことにチャレンジして、レクリエーション活動の充実に取り組んでいる**

昨年度からレクリエーションや趣味活動の拡充に向けたプロジェクトを発足して、単にコロナ禍の前に戻るのではなく、利用者や職員がやりたいことを実現できるサービスの創出を目指している。利用者や職員の希望やアイデアを活かして、初めてのことにチャレンジする様子があり、今年度は初めてハロウィンのイベントを企画していた。また、外気に触れる屋外活動を増やそうと中庭の環境を整えて、利用者が野菜や花を育てたり、季節の花を鑑賞している。地域に出かけて桜・紫陽花・バラ等のお花見をしたり、近隣の散歩などの外出の機会も増やしている。

・ **学生実習やボランティアを受け入れて、利用者が職員以外の様々な人と交流し生活の充実にも繋がっている**

学生実習やボランティアを積極的に受け入れて、利用者が職員以外の人と交流する機会がある。ボランティアの受け入れは、利用者の生活を豊かにするだけでなく、地域の人々をつなぎ新たな社会資源の創出になると考えている。法人のボランティア受け入れプロジェクトでマニュアルを作成し、個人や団体が登録している。ボランティア活動は和洋の歌・楽器演奏、フラダンス等の舞踊、生花・朗読・落語・傾聴などから、軽作業のお手伝いまで様々なものがある。ボランティアの参加で活動やレクリエーションが多彩になり、利用者の生活の充実にも繋がっている。

さらなる改善が望まれる点

・ **職員間の情報共有の内容やその在り方について検討を重ね、より一層の情報共有の最適化を目指してもらいたい**

よりよいサービスの提供を目指し、常に職員のスキル向上と情報共有に取り組んでいる。利用者の個別記録に関しては利用者情報の管理表や介護ソフトを活用して残すことで情報の管理および共有を図っている。タブレット端末を使った記録入力の簡素化も進めている。介護ソフトの導入により文字媒体での情報共有は定着してきたが、口頭での伝達が効果的な場合もあると考え、職員間での共有する内容についての基準を明確にして、申し送りの精度をさらに高めたいと考えている。引き続きより細やかで効果的な情報共有を目指してもらいたい。

・ **事業所の様子やサービス内容などを積極的に外部に情報発信をしていきたいと考えている**

事業所の特色などの情報発信を行い、利用希望者やその担当する介護支援専門員などの関係者に周知することが必要と考えている。今年度新たな取り組みとして、サービス内容の詳細を記したパンフレットなどを「サービスカタログ」として作成して居宅介護支援事業所に配布している。また今年度9月に、介護支援専門員向けの事業所内覧会も実施している。一般通所介護と認知症対応型通所介護の併設事業所のため、それぞれの活動スペースやサービスについて直接見てもらうことができた。今後も事業所を知ってもらう取り組みとしての継続が期待される。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・ **「サービスカタログ」の配布や介護支援専門員向けの事業所内覧会を行っている**

当事業所の様子やサービス内容について居宅介護支援事業所などの関係機関に広く周知する取り組みとして、事業所のパンフレットやサービス内容の詳細をまとめた「サービスカタログ」を作成している。サービスカタログは地域の各居宅介護支援事業所に複数部ずつ配布している。さらに今年度9月には介護支援専門員を対象にした事業所内覧会も開催している。介護支援専門員に当事業所の様子やサービスを直接見てもらい、利用希望者への説明の一助になるようにしている。

・ **多様なニーズに対応できる設備と体制があり、利用者に合わせた機能訓練を実施している**

パワーリハビリ機材およびケア機材を新規に導入して、多様な機能訓練ニーズに対応できる設備と体制を整えた。個別機能訓練、小集団機能訓練、全体での訓練プログラムがあり、全体体操・ボール体操・口腔嚥下体操を日課に組み入れている。リハビリ機材は歩行や生活動作の動きに近いものを選定し、写真や図解付きで使い方を解説したマニュアルを作り、他の職員にも周知している。機能訓練指導員は運動前に利用者の体を温めてほぐす準備も重視して取り組み、一つひとつの運動にどのような効果があるかを、必ず利用者に説明してから実施している。

・ **外気に触れたり地域で過ごすことを大切にして、屋外活動を工夫しながら再開している**

新型コロナウイルスが5類感染症になり、生活が徐々に元に戻る中で今年度は外気に触れたり、地域に出かける機会を増やそうと取り組んでいる。中庭やベランダの環境を整えて、利用者が土に触れてアサガオ等を育てたり、季節の花を鑑賞できるようにした。トマト・バジル・ピーマン等の野菜を育て、それらを使い職員がピザを焼いて利用者に提供した。外出では桜・紫陽花・バラ等の開花や祭りに合わせて出かけたり、近隣の公園や神社等を散歩することがある。引き続き感染予防の対策を実施しており、外出レクの前に家族にも必ず許可を得ている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

43/74

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	81.0%	16.0%	いいえ：2.0%	無回答・非該当：0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	79.0%	9.0%	9.0%	いいえ：2.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	53.0%	37.0%	いいえ：4.0%	無回答・非該当：4.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	83.0%	13.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：2.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	76.0%	20.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：2.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	90.0%		どちらともいえない：4.0%	いいえ：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	93.0%		どちらともいえない：4.0%	いいえ：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	86.0%	11.0%	どちらともいえない：2.0%	いいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	69.0%	20.0%	9.0%	いいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	86.0%	9.0%	いいえ：0.0%	無回答・非該当：4.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	79.0%	9.0%	11.0%	いいえ：0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	81.0%	6.0%	11.0%	いいえ：0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	74.0%	13.0%	9.0%	いいえ：2.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	81.0%	11.0%	6.0%	いいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	60.0%	18.0%	18.0%	いいえ：2.0%